

## 第11章 戦略と資本投資決定（327p～353p）

2012年6月6日

担当：前田

### 11.1 まず市場価値に着目せよ

- 誤った予測が正しい情報を駆逐する
  - 正のNPVを持つように見えたり、明らかに魅力的な乗っ取り先を見つけても実際には、誤った予測により、そうなっている。
  
- キャデラックと映画俳優
  - 市場価格を出発点にして、個人的に持っている情報を評価する。
  
- 例：新しいデパートへの投資
  - 資産が自分が活用するよりも、他者が活用するほうが価値がある場合、他者に競り勝とうとすることには慎重であれ。
  - 資本投資判断をするときには、常にどんな賭けを行っているのかを考える必要がある。
  
- もう一つの例：金鉱の開発
  - 資産に市場価格があれば、少なくとも分析の出発においては、それを用いよ。

### 11.2 経済的レントと競争上の優位性

- 経済的レントを生み出すための産業内でのポジショニング
  - 経済的レントとは、資本コストを超える利益。
  - 手段：費用面での優位性、製品の差別化、ニッチ分野への特化（Michael Porter）
  - 経済的レントが生じる要因の特定に努める必要がある。
  
- 1億ドルのミスをいかに回避したのか
  - 正のNPVは、長期の競争上の優位性がないのであれば疑わしい。

#### 【コメント】

- ◆ DCF法は非常に有用なものであるが、投資判断には競争上の優位性といった定性分析も必要なのだなと思った。